

しっかりとした七尾城跡保存活用計画を!

荒川議員 七尾城のコンピュータグラフィック等により、七尾城跡や城址資料館への来訪者や関心度などの波及効果はどうか。また、本丸を取得することにより今後の七尾城整備はどうなるのか。そして、今後の財源確保やプロジェクトのあり方についてどう考えるのか。

近江教育長 城址資料館やホームページなど、広く発信したことで、大変好評である。城址資料館ではコンピュータグラフィックが好評で、5月に過去最高の808人が入館した(前年度の約1.5倍)。本丸にも全国から多くの方が訪れ、5月5日の入り込み客は354人に。ボランティアガイドの要請も昨年度の要請をすでに上回る勢い。また、本丸を取得したことで復元整備に着手可能となり、平成29年度までに七尾城跡保存活用計画で本丸などの復元計画を盛り込み、整備計画に向けて本格的に検討を行う。その後、測量データと現況調査をし、測量図を活用した復元を視野に入れた保存活用計画を作成する。調査整備は平成30年度以降に実施予定。財源については、国県の史跡整備補助金があり、ふるさと納税や寄付を募ることも考えられる。今は国県などの指導を仰ぎながら、体制強化すべきと考えている。

その他の質問項目

- 改正公職選挙法に伴う取り組み
- 七尾市民総幸福度の取り組み
- 北陸新幹線や能越自動車道開通の手応え



七尾城跡

空き家対策は進んでいるのか?

木下議員 空き家が放置されている背景に、解体して更地にする住宅用地を対象とした固定資産税が最大6倍にもなるという問題、あるいは所有者が遠方に住んで管理が行き届かないといった問題がある。そこで、空き家対策特別措置法の施行により所有者への相談窓口を設けた自治体や撤去費用の一部補助をしている自治体もあるが、七尾市としてはこの法律をどのように生かし解消に努めるのか。

不嶋市長 七尾市内の空き家率が平成25年度調査で18.5%ということで、今後も増えていく可能性がある。今後は法に基づき空き家等の実態を明らかにし、相談にもしっかりと対応していく。なお、相談窓口は都市建築課となる。また、法律を生かした取り組みとして、一部撤去費用の助成をしている小松市や能登町など先進地の事例を勉強し、今後検討していきたい。さらに、このような行政サービスについての周知方法として、固定資産税の納付書を送るとき、物件の相談に応じる内容のチラシを同封する準備を進めている。

その他の質問項目

- 輸出品販売(免税店)の制度の活用



市内の空き家

※空き家対策特別措置法…放置しておく危険が想定される空き家に対して、自治体が撤去や修繕などを命令できる法律

格差のない子育て支援を!

山崎議員 結婚歴のないひとり親世帯には、離婚、死別による母子、父子世帯と異なり、寡婦控除とみなして保育料の減免措置が適用されていない。同じひとり親世帯であり、保育料の減免対象にすべきではないか。結婚というものは重要なことではあるが、子育て支援に結婚歴の有無は関係なく、格差をつけるべきではない。市独自で行う子育て支援には結婚歴の有無で格差のない支援を検討してほしい。

不嶋市長 保育料の算定は、保護者の市町村民税の課税額などによって算出される。未婚のひとり親に対する「みなし寡婦控除」については、所得税法の改正等によって国が進めるのが筋であり、国がしっかりと手当をすべきことだと思う。市としては、未婚のひとり親の経済状況は非常に厳しいものがあると思っており、何より子育てに一生懸命頑張っているところだと理解している。国の手当てがあるまでは、未婚のひとり親のきめ細やかな子育て支援の観点から、実施に向けた検討を始める時期ではないかと思っている。

その他の質問項目

- 情報管理 ■エネルギー事業
- 行財政改革の更なる取り組み



手をつなく親子

インクルージョンの考え方で!

山添議員 来年4月に障害者差別解消法が施行される。これは、障害者基本法第4条「何人も障害者に対して障害を理由として差別すること、その他の権利、利益を侵害する行為をしてはならない」ということについて、市民に周知徹底し理解を図るには、どのような取り組みをしていくのか。また、障害者計画に「インクルージョン」という考え方を取り入れ、教育や福祉のさらなる充実を図ってみたい。

登美健康福祉部長 広報紙をはじめとする市の広報媒体を活用し、10月開催の健康福祉まつりでのPR、社会福祉協議会や民生委員、児童委員の研修などを通して周知を図っていく。また、市の障害者計画では障害者基本法の目的に掲げる障害の有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を踏まえ施策を推進していくこととしている。インクルージョンという言葉ではないが、この考え方を踏まえた障害者計画になっているものと思っている。

その他の質問項目

- 新幹線、自動車道の効果 ■認知症サポーター
- 不登校児童生徒に対する配慮 ■平和写真ハネル展
- 公共施設のトイレ洋式化 ■公共施設利用料の減免



障害者差別解消法のパンフレット

※インクルージョン…身体に障害のある子供たちが、教育や社会に参加していくことを目的とした取り組み

日本遺産認定を生かした取り組みを!

中西議員 全国から54件の申請のうち18件が認定された日本遺産で、石川県から申請した「灯(あかり)舞う半島 能登・熱狂のキリコ祭り」も認定を受けた。そのなかで七尾市のキリコ祭りも含まれているが、この認定をどのように受け止めているか。また、輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、志賀町と3市3町で今後どのような連携をしていくのか。先般、県と3市3町にまたがって会議があったみたいだが、どのような内容の話し合いがなされたのか。

不嶋市長 日本遺産とは地域の歴史的魅力や特色を通し、文化伝統を語る物語である。今回の認定には、市内のキリコ祭り、石崎奉燈祭、七尾祇園祭、能登島向田の火祭、六保納涼祭、塩津かがり火恋祭り、新宮納涼祭などが含まれる。これらの祭りは、七尾市が目指す交流体感都市を実現するための貴重な資源、財産として、保存および活用をしっかりと進めていく。また、県と3市3町からなる活性化協議会が組織され、連携を取りながら能登のキリコ祭りとして全国にPRし、能登そして七尾への誘客につながるよう取り組んでいきたい。

その他の質問項目

- 放課後児童クラブの委託運営



石崎奉燈祭

安心して通学ができるように!

佐藤議員 ①七尾中学校の通学区域について、まだ広く浸透されていない。今後どのように進めていくのか。②公共交通を利用した通学について、どのように考えているのか。③天候が悪い時など、七尾高校への送迎なども含めて学校周辺の混雑が予想される。何か対応策はあるのか。また、南藤橋の踏切を渡って通学する生徒が増え、安全性と利便性を図るうえで対応を検討すべきと思うが見解を伺う。

近江教育長 ①近隣の小中学校を通じて説明資料を配布する。また市のホームページも活用する。さらに、対象地域の保護者から希望があれば、随時説明会を開催していく。②徳田の一部と田鶴浜地区はスクールバスでの対応を検討。その他遠距離通学区域については公共交通の利用も検討していく予定。③地元町会や警察などと安全推進連絡会議を開催し、協議を行っている。現在、七尾高校の送迎状況と他の中学校の送迎状況を確認している。そこで、自転車のレーンの設置や交通マナーなど、今後検討していく必要がある点について継続的に協議を重ねて対応していく。

その他の質問項目

- 空き家対策 ■ふるさと納税



七尾高校周辺の道路

七尾市議会の採決結果や詳しい答弁内容はホームページにて公開しています。

七尾市議会

検索